

今月は最近のマイブームについて書こうかと思えます。  
最近のマイブームは①落語と②シムシティ(スマホゲーム)と  
③ゴールデンウィークの旅行先調べです。

川越富洲原教室  
有竹です



①近はほぼ毎日落語を見ている。なぜ落語にはまったかという昭和元禄落語心中というアニメの影響です。そのアニメに出てくる実際の落語を見ようと思ったのがきっかけです。

落語を見ていると生徒さんに言ったら「じじいやん」と言われてしまいましたが、国語の古典が苦手です。特に落語の知識のない私でもすんなり理解できます。やはり落語家さんは話し方がうまく自然と引き込まれてしまいます。

伝統芸能なので敷居が高いかなと思っていましたが、

全く堅苦しくなく自然と笑えます。そばを食べるシーンなどもすごく美味しそうに見えるなど、一つ一つの仕草が驚くほど洗練されています。

ただどうしても落語は酒や女等大人の江戸っ子の遊びの話も多く、そういうところは生徒さんにはわからないことが多いかと思えます。だからまだ生徒さんには早いのかも。ネットで探すと子供向けの落語なんかも出てくるのでそういうのを聞いて見るのもいいかもしれませんね。

私は今は亡き名人、古今亭志ん朝さんの落語ばかり見ている。志ん朝さんは古典落語(江戸～明治に作られた落語)が得意なようで、生徒さんには難しそうな江戸時代の話ばかりです。新作落語(大正以降に作られた落語)などはもしかすると生徒さんにもなじみやすいのかもしれませんが。私はまだ聞き比べるほど落語を聞いていないので、また生徒さんにオススメできるようなものが出て来たらこういう場でお伝えしていきたいです。

②スマホでシムシティというゲームがあります。自分が市長になって街を作っていくゲームです。初め何も無い土地からスタートして、街をどんどん大きくして人口を増やすのが目的のゲームです。街を作るだけでなく街で作った製品を世界中のプレイヤーと貿易ができます。

街を大きくしていくときに単純に家を増やしていくだけではなく、電気やゴミ処理などの公共サービスをしっかりと整備



↑このアニメはアマゾンプライム  
会員だと無料で見られます



↑ appstore, googleplay から無料で  
ダウンロードできます。

しないといけません。市民の満足度を上げて税収をアップさせるという現実の街作りを学べるゲームです。

また貿易をすることで世界経済の仕組みもわかるのかもしれませんが。街がまだ発展していないうちは原料ばかり輸出して稼ぐ(昔の日本が生糸の輸出ばかりだったことや、もっと言えばアフリカのモノカルチャー経済)、安く売っている人から買って来て高く売る(シルクロードの街やシンガポールはこのような中継貿易で発展しました)、街が発展してこれば原料を買って来て商品を作って売る(今の日本の加工貿易)などの流れが自然とわかります。

後は単純に先を見通して考えるトレーニングになります。このゲームは行き当たりバッタリではかなり効率が悪くなるので、先々まで考えないといけませんが、それがすごく難しいです。無料アプリですの社会や考えるトレーニングにいいゲームかもしれません。ハマりすぎは注意ですが、何時間もずっとするようなゲームではない(あまり進展がないから待つしかない)ので某パズルゲームなどに比べればやりすぎるといえることはないかと思えます。



↑私が作っている街。まだこれだけの小さな街ですが人口は24万人！グラフィックがすごく綺麗で細かいです。



↑工場でいかに効率よく街に必要なものを作るかが決め手です。ものすごく頭を使います。

③ゴールデンウィークどこに行こうか思案中です。行ってみたい国はたくさんあります。

・カザフスタン ○○スタン＝危険というイメージがあるかもしれませんが、カザフスタンの治安は悪くない国です。外務省のHPによると治安レベル1でフィリピンやインド等と同じレベルです。

・北朝鮮 怖い国のイメージですが、観光で行くとすごくいい国だそうです。中国経由のツアーに参加するしか北朝鮮に入る方法はありません。北朝鮮旅行はガイドが必須で個人で旅行はできません。要は外国人に見せてもいいところだけを案内してもらえそうです。北朝鮮としては好感度を上げたいので観光客はしっかりもてなしてくれるそうです。しかしお値段が張る(20万近く必要)のでなかなか気軽に行けません。あと外務省が行くなと言っているのもちゃんと守らないといけなかな。

・行きたかったけど行けなかったところ

大阪ー上海フェリー 乗ってみたかったのですがゴールデンウィークはドック(検査)のため休航でした。一番稼ぎどころのゴールデンウィークを休むというなかなか面白い心意気。さすが中国資本の会社です。そのやる気のなさが面白いのでいつか乗りたいです。

と、いろいろ調べて気にはなっていますがどこに行くかは決まっていません(笑)

## ○学年末テストが終わりました。

まだほとんどの学校学年で学習の記録(点数がまとまった紙)が返ってきていないのでまだ結果はわかりません。川越中の1年生は学習の記録が帰って来ました。平均点が点下がっています。毎年多くの学年で3学期の学年末は下がります。そのため素点が下がっても順位が上がる可能性はあります。いつも書いていますが素点だけ見ず平均点との差、順位を見てあげてください。それを見るためには学習の記録が帰ってくるのを待つしかありません。

でも素点だけ見てよかった生徒さんを一部紹介します。

朝日中新中2 Rちゃん 英語 25点アップ

川越中新中2 Yくん 過去最高順位

川越中新中2 Aくん 英語 18点アップ

富洲原新中3 Kちゃん 英語 29点アップ

富洲原新中3 Kちゃん 5科目合計今年度最高点

富洲原新中3 Mちゃん 数学 今年度最高点

## ○今年の受験生の頑張り(合格実績)

中3の公立高校後期の結果発表はまだですが、私立、公立前期の結果、大学入試の結果はほぼ出揃いました。今年は例年に比べると受験生が少ない年でした。(中3:11人、高3:3人)

### ・私立高校

暁(Ⅰ類、Ⅱ類)、海星(進特、進学)、津田(特進、総進)、古川学園  
幅広く様々なところに合格しました。

### ・公立高校前期合格(後期選抜の合格発表はまだです。)

いなべ総合、四日市商業情報マネジメント科  
前期入試は倍率が高く難しいです。また面接や作文もあるので普段の実力だけでは測れず受ければラッキーというような感じです。特にいなべ前期は毎年倍率が高く難しいのですが頑張ってくれました。逆に四商は近年人気落ちて来ているので狙い目です。

### ・大学受験

高知工科大学、追手門学院大学、奈良大学、愛知工業大学  
今年の高3は全員大学でいたいことがはっきりしていて、ここの大学にしかないような勉強をしたいという生徒さんが多かったです。ある一人の生徒は模試で名古屋大学 A 判定が出ていてセンター試験も素晴らしい点を取っていましたが、それでも自分のやりたい大学に行くということで、三重県の方には馴染みの薄い第一志望の大学だけを受けました。(塾の合格実績的にはあれですが(笑))  
そういう大学選びが一番大切です、私はそれを応援します。(学校の先生には名の通った国公立大学受けて実績を作りたいと言われるようです。)